

小国建第516号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

阿蘇郡小国町長 北里 耕亮



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、別添の通り回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

熊本県小国町

今後、道路特定財源の一般財源化が進められる中、道路建設予算全体の縮減が進むであろうが、地方道路については、都市部との所得格差縮減を進める上で、産業インフラへの重点投資を計るべきだと思う。地方の活力の源は、都市部からのお金の流入による所が大きい。都市部からの観光客誘致、農産物の都市への売り込みにより、地方（特に中山間部）は、活力を得ることが出来る。今後とも、地方道路整備への重点整備を要望するものです。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式②

熊本県小国町

○現状

我々が住む行政区域内でも、道路が整備されている地域とそうでない地域が混在する。未整備地域住民から道路整備の要望がなされているが、財政的余裕がなく現状は住民に我慢してもらっている。

○課題

左の現状をふまえて、今後数年内に未整備地域の整備を検討しているが、この整備についても、交付金事業等「道路特定財源」に負う所が大きい。道路特定財源の一般財源化については、危惧される所である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

熊本県小国町

現在、一般国民が利用している道路は、建設事業主体が大きく分けて、国土交通省と農林水産省がある。国土交通省と農林水産省の連携が、なされてなく、道路整備に不具合を感じる。今後、国土交通省と農林水産省が連携（例えば合同の道路局を整備）し、整備を行っていけば、無駄、ムラが省け、国民の期待に添えるような道づくりが出来ると思う。

（例えば、「この農道を国土交通省の規格で造ればもっと走りやすく、国道のバイパスとして使えるような道になるのになあ」と、思う道がある）